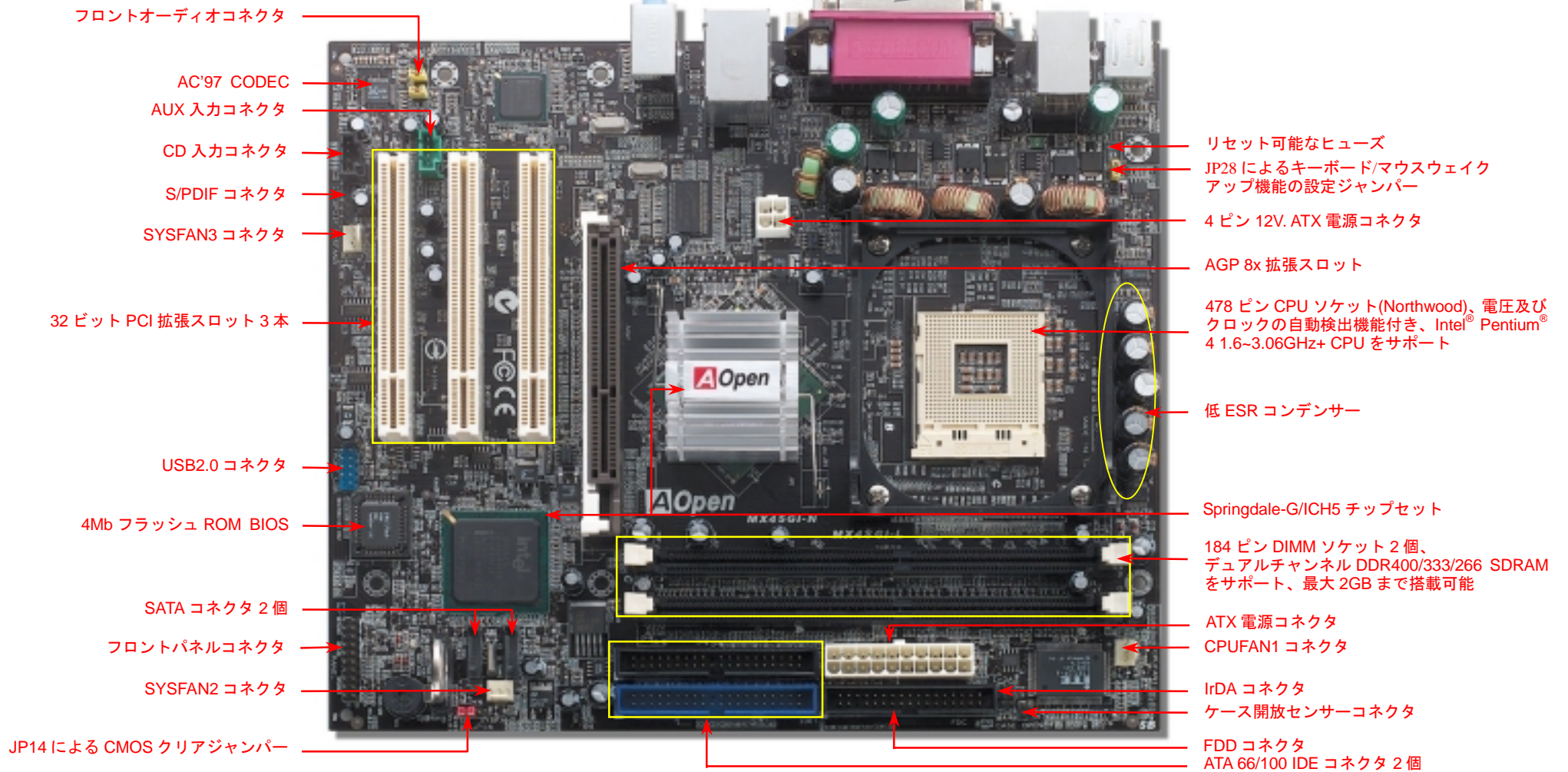
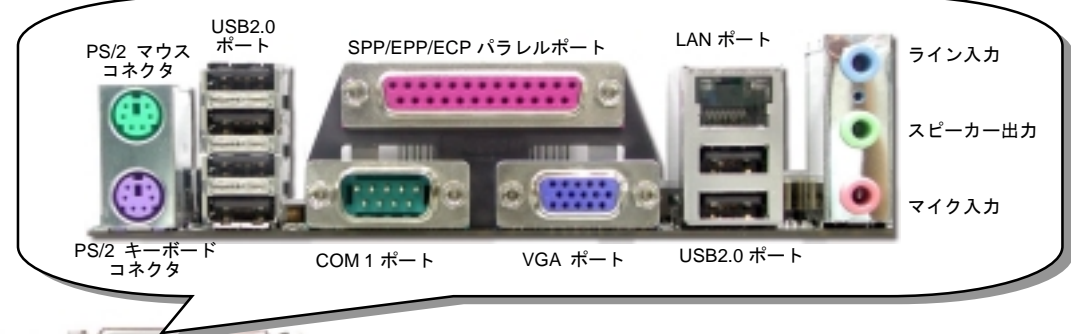


MX4SGI-L MX4SGI-N

(当イージーインストールガイド中の規格及び情報を変更する権限はAOpenにあります。予告無く変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。)

イージーインストールガイド



インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な情報については**オンラインユーザーズマニュアル**か **Bonus Pack CD ディスク**に付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ✓ 当イージーインストールガイド1部
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル 1 本
- ✓ フロッピーディスクドライブケーブル 1 本
- ✓ 登録用カード 1 枚
- ✓ Bonus Pack CD ディスク 1 枚

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



1 番ピン



正常動作の場合
(初期値)

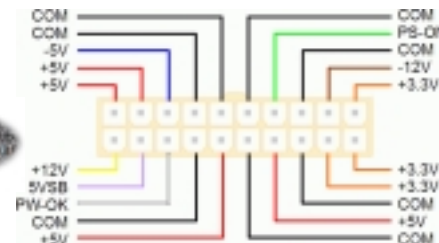
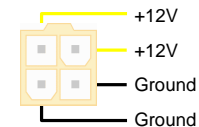
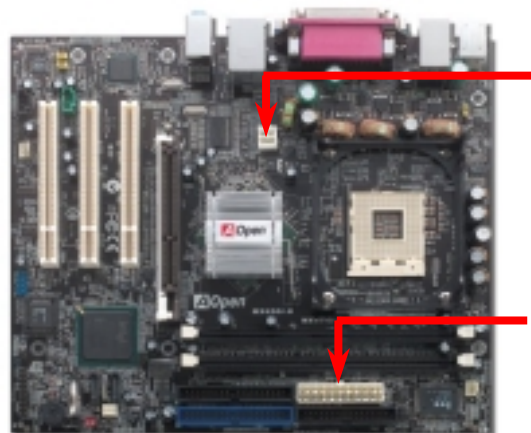


CMOS クリア
の場合

ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?
 1. オーバークロック時の起動失敗...
 2. パスワードを忘れた...
 3. トラブルシューティング...

2. ATX 電源コネクタの接続

下図のように、このマザーボードには 20 ピン及び 4 ピン ATX 電源コネクタ各 1 個が装備されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピンのコネクタに接続する前に、まず 4 ピン 12V 用コネクタに接続してください。



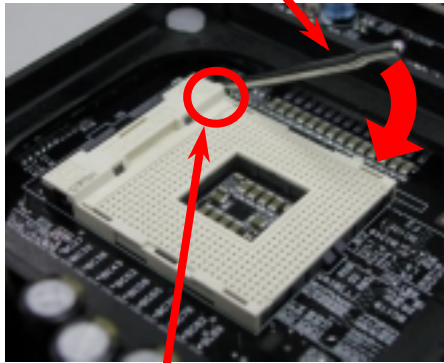
PART NO:

DOC. NO: MX4SGIN-EG-J0304A

3. プロセッサのインストール

このソケットはインテルが開発した最新 CPU パッケージである Micro-FC-PGA2 をサポートしていますので、他のパッケージの CPU を装着することは不可能です。

CPU ソケットレバー



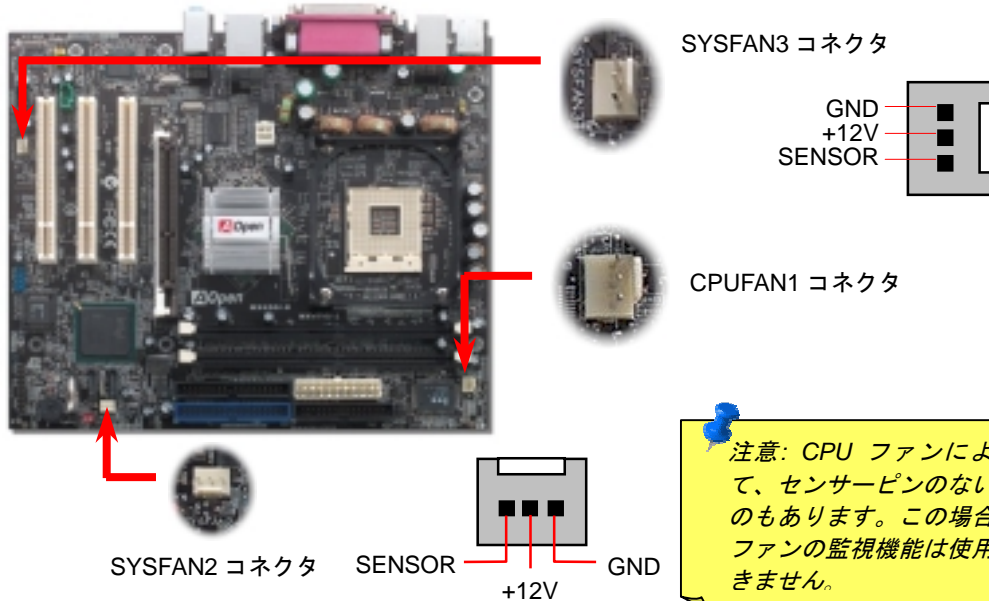
CPU1 番ピン及び面取り部

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置及び CPU 上部の金色の面取り部を確かめてください。1 番ピン及び面取り部を合わせて、CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻しますと、CPU のインストールは完了です。

注意: CPUソケットの1番ピンとCPUの面取り部を合わせてインストールしないと、CPUに損傷を与える可能性があります。

4. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3 ピンの CPUFAN1 コネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを SYSFAN2 または SYSFAN3 コネクタに差し込むことも可能です。



注意: CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が自動検出されます。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパーレス設計で、CPU クロックは BIOS セットアップから設定できますので、ジャンパースイッチ類は不要です。BIOS の「CPU Host/SDRAM/PCI Clock」項目より FSB を調整することでオーバークロックができます。

BIOS セットアップ > クロック / 電圧コントロール > CPU スピード設定

CPU レシオ	8x, 10x... 21x, 22x, 23x, 24x			
CPU FSB (手動調整)	100~248MHzの間、1MHz単位での調整が可能			
Northwood CPU	CPUコア クロック	FSB クロック	システム バス	レシオ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	133MHz	533MHz	12x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	133MHz	533MHz	13x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 2.0G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	133MHz	533MHz	16x
Pentium 4 2.26G	2260MHz	133MHz	533MHz	17x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	133MHz	533MHz	18x
Pentium 4 2.53G	2530MHz	133MHz	533MHz	19x
Pentium 4 2.6G	2600MHz	200MHz	800MHz	13x
Pentium 4 2.66G	2660MHz	133MHz	533MHz	20x
Pentium 4 2.8G	2800MHz	133MHz	533MHz	21x
Pentium 4 2.8G	2800MHz	200MHz	800MHz	14x
Pentium 4 3.0G	3000MHz	200MHz	800MHz	15x
Pentium 4 3.06G	3060MHz	133MHz	533MHz	23x

警告: Intel Springdale-G チップセットは最大 800MHz システムバス及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

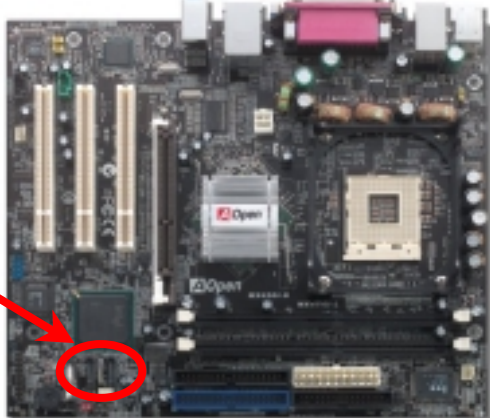


6. シリアル ATA ディスクの接続

シリアル ATA ディスクを接続するには7ピンシリアル ATA ケーブルが必要です。シリアル ATA ケーブルの両端をマザーボード上のシリアル ATA ヘッダー及びディスクに接続します。他の一般的なディスクと同様に、電源ケーブルの接続も必要です。この接続作業はジャンパーの調整がいらないので、ジャンパーをマスターやスレーブモードに設定する必要はありません。二台のシリアル ATA ディスクを接続する場合に、システムは自動的に“Serial ATA 1” ヘッダーに接続されるディスクをマスターディスクとしてみなします。

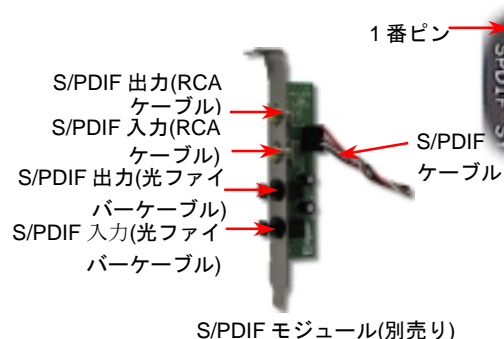
注意: パラレル ATA ディスク2台とシリアル ATA ディスク2台を同時に接続できるのは、Windows XP と Windows.Net 環境下のみとなっていますのでご注意ください。

シリアル ATA ディスク接続用
シリアル ATA コネクタ



8. S/PDIF コネクタ

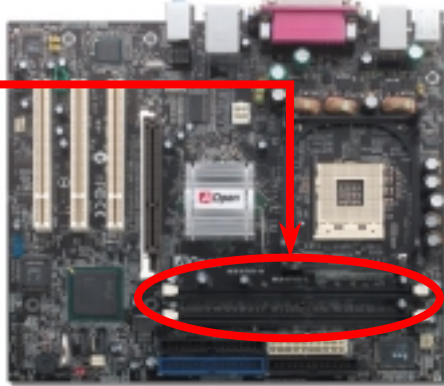
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。図示されるように S/PDIF 出力は2つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの SPDIF 出力を SPDIF デジタル入力対応スピーカーに接続する必要があります。



7. メモリモジュールの取り付け

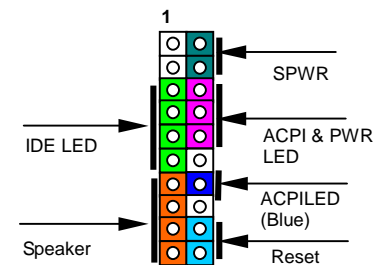
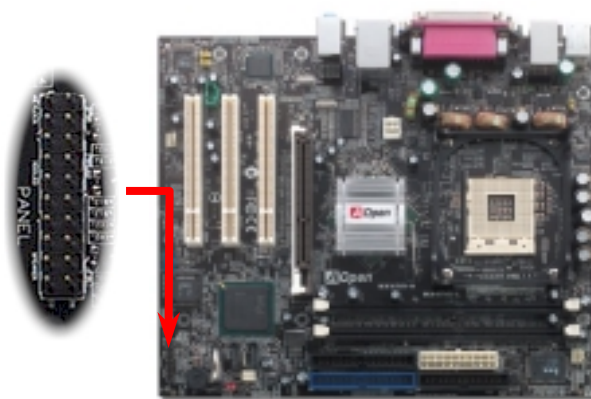
当マザーボードは184ピンDDR DIMMソケットを2本装備し、[DDR400](#)、[DDR333](#)または[DDR266](#)メモリを最大2GBまで搭載可能です。対応メモリはnon-ECC DDR RAMメモリのみです。適切なメモリモジュールを取り付けてください。さもないと、メモリソケットやメモリモジュールに重大な損傷を与える可能性があります。デュアルチャンネルを利用するには、同じタイプのメモリモジュールが必要となります。容量の異なるメモリモジュールを取り付けたら、システムはシングルチャンネルモード、かつメモリ容量の低いメモリモジュールのスピードでメモリアクセスを行うようになります。**DDR333メモリモジュール搭載でCPU FSBを800MHzに設定した場合、インテル社の制限により、メモリのデータ転送速度はDDR320メモリと同様です。**CPUの種類によるほかの制限に関しては、下表をご参照ください。

DIMM1
DIMM2



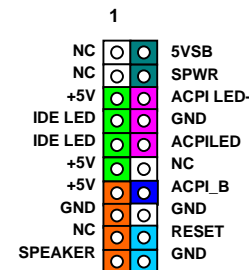
	DDR266	DDR333	DDR400
CPU FSB 400MHz	V	X	X
CPU FSB 533MHz	V	V	X
CPU FSB 800MHz	V	V	V

9. フロントパネルコネクタの接続



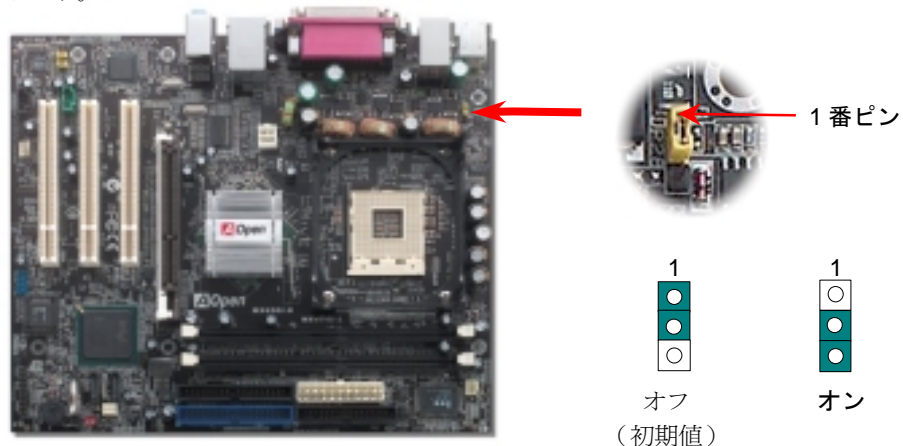
電源LED、スピーカー、電源、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI および電源のLEDがサスペンドモード中に点滅します。

お持ちのATXの筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている2-ピンメスコネクタです。このコネクタをSPWRと記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



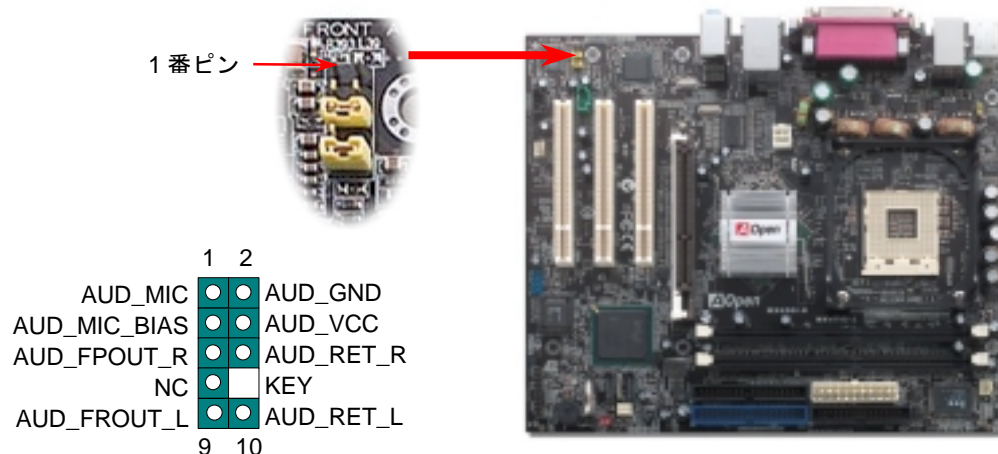
10. JP28 によるキーボード/マウスウェイクアップ機能の設定

当マザーボードにはキーボード及びマウスのウェイクアップ機能が備わっています。ジャンパーJP28により、マザーボードに接続されたキーボードやマウス操作によりシステムがサスペンドモードからリジュームする機能のオン・オフが可能です。工場出荷時のデフォルト設定では“オフ”(1-2)になっており、ジャンパーを 2-3 に設定するとこの機能がオンになります。



12. フロントオーディオコネクタ

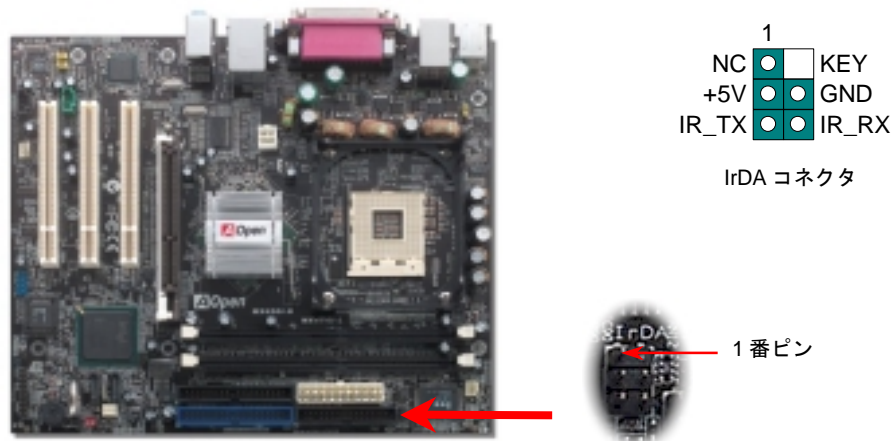
ケースのフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタからジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は黄色いキャップを外さないでください。



11. IrDA コネクタ

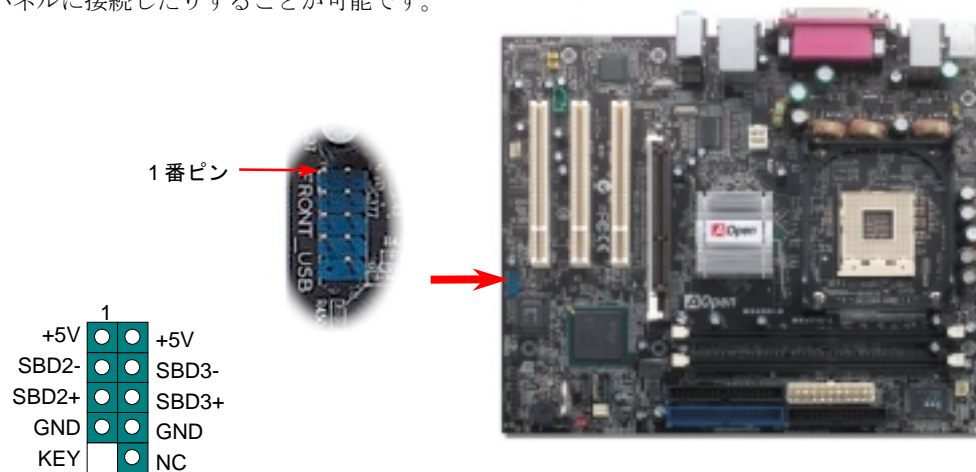
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。

IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART2 モードで正しく設定します。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



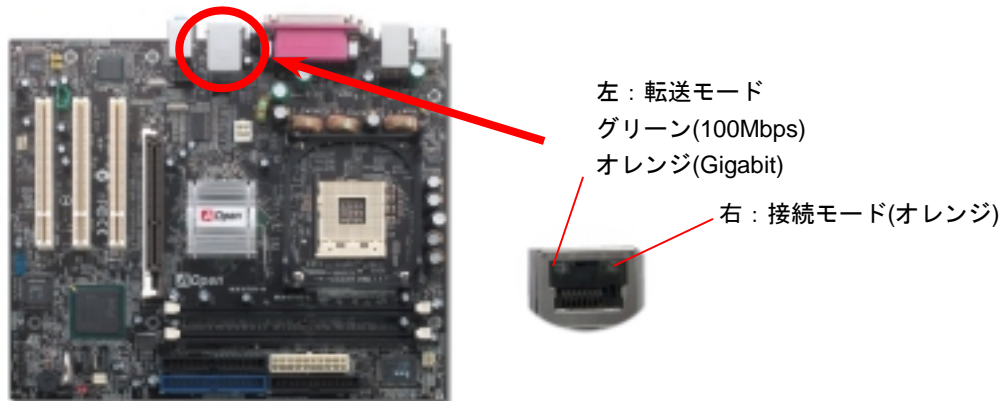
13. 第二 USB 2.0 コネクタ

このマザーボードはマウス、キーボード、モデムやプリンター等の USB デバイスを接続するのに、USB コネクタを 6 個提供しています。オンボードで搭載された 1 個の USB コネクタに USB デバイスを 2 台接続できる上に、PC99 バックパネルにも 6 ポートが用意されています。適切なケーブルで PC99 バックパネルに USB デバイスを接続したり、USB コネクタをケースのフロントパネルに接続したりすることが可能です。



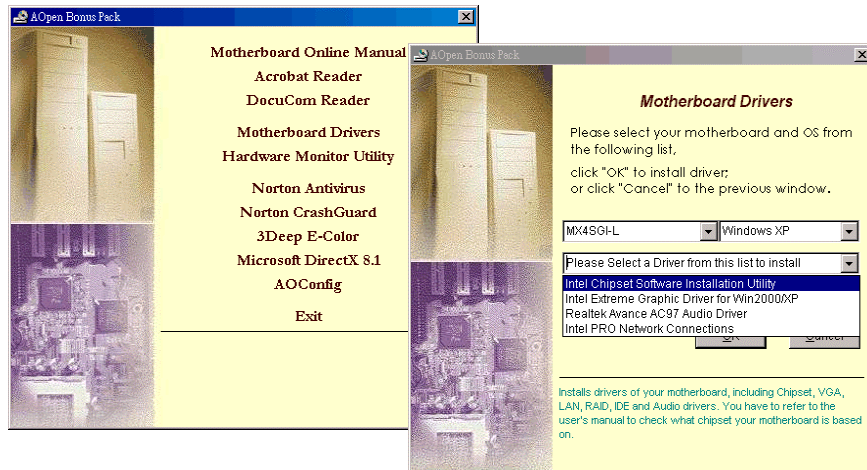
14. オンボードの 10/100Mbps(MX4SGI-N)及び Gigabits(MX4SGI-L) LAN 機能

LAN 接続用統合ソリューションの Intel 10/100Mbps LAN PHY チップ(MX4SGI-N)並びに Intel Kenai II Gigabits LAN コントローラ(MX4SGI-L)はオフィス及び家庭用 Gigabits Ethernet 機能または 10/100Mbps イーサネット機能を提供します。イーサネット RJ45 コネクタは USB コネクタの上に位置します。LED の右側は接続モードを表示し、ネットワーク接続中にオレンジ色に点灯します。LED の左側は転送モードを表示し、100Mbps LAN モードの場合に緑色点灯しますが (10Mbps 接続の場合に点灯しません)、Gigabits LAN 接続の場合にオレンジ色に点灯します。この機能をオン/オフにするには、BIOS により調整可能です。



15. AOpen Bonus Pack CD

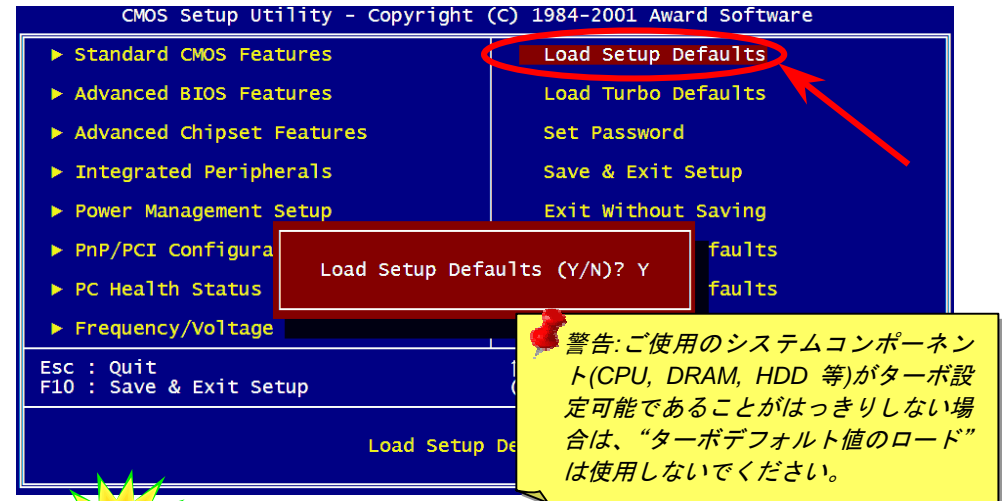
Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。モデル名を選択した後、この CD ディスクから INF、オーディオ、LAN 及び USB2.0 ドライバをインストールすることができます。



16. 電源投入及び BIOS セットアップのロード

Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中にキーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択してください。



17. BIOS のアップグレード

下記の手順に従って、EzWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

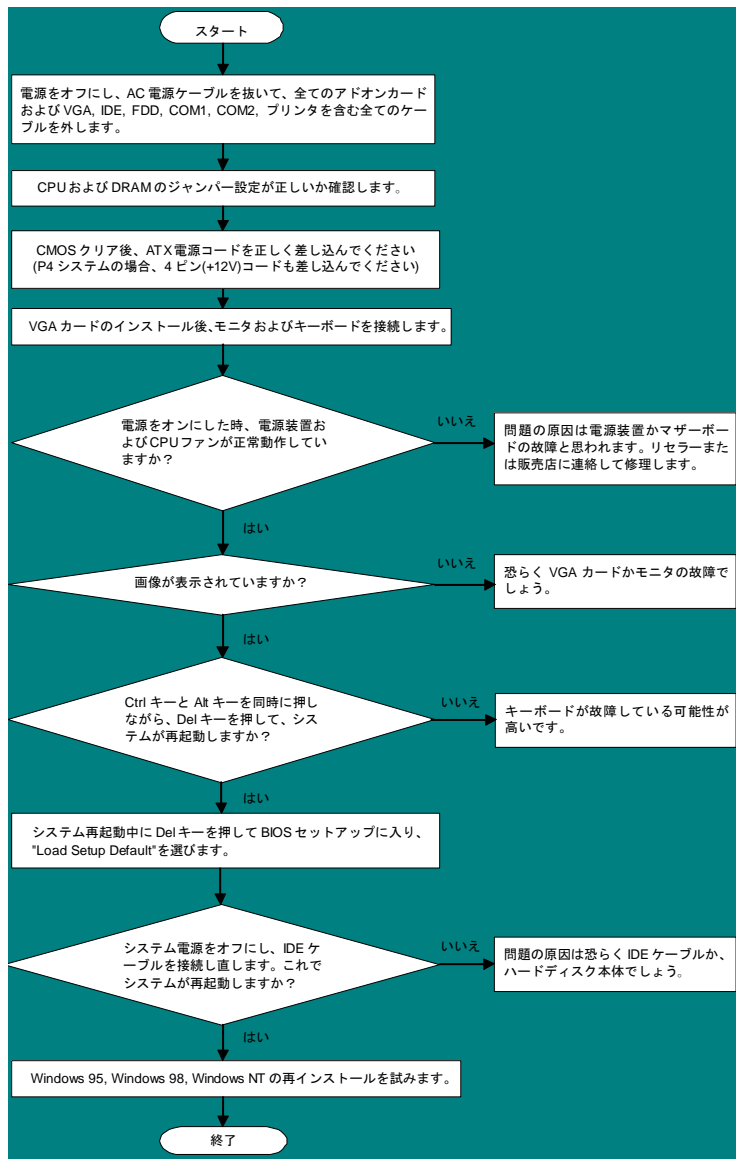
1. AOpen の公式ウェブサイトから最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。Windows において、WinZip (<http://www.winzip.com>) で BIOS パッケージ (例えば、WMX4SGIN102.ZIP) を解凍します。
2. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WMX4SGIN102.EXE 及び WMX4SGIN102.BIN です。
3. WMX4SGIN102.EXE をダブルクリックしたら、EzWinFlash はご使用のマザーボードのモデル名及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
4. 主要メニューから言語の指定を行い、「フラッシュ開始」をクリックしたら BIOS アップグレード作業が開始します。
5. EzWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、「はい」をクリックして Windows を再起動します。
6. POST 時にキーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、「Save & Exit Setup (保存して終了)」します。これで完了です。

フラッシュ処理の際に、絶対にアプリケーションを実行したり電源を切ったりしないで下さい!!



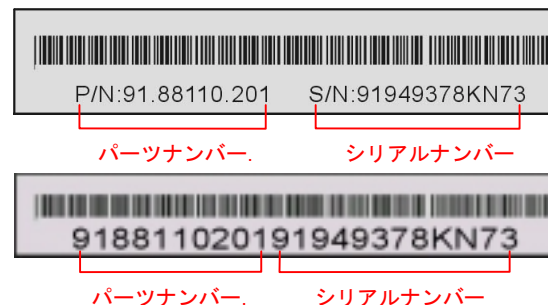
トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



パーツナンバー及びシリアルナンバー

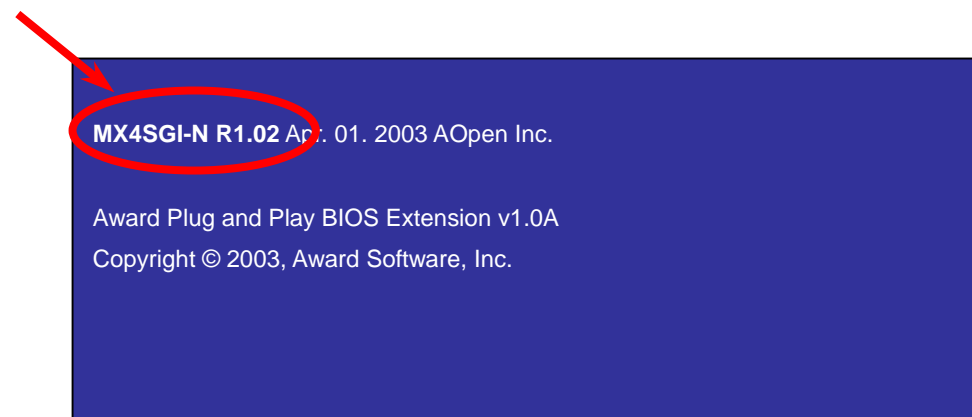
パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCBのコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOSバージョン

モデルネーム及びBIOSバージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



MX4SGI-Nがマザーボードのモデルネームで、R1.02がBIOSバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域
AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ
AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email: Support@AOpen.NL

中国
艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ
AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ
AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-1805-559191
Fax: 49-2102-157799

日本
AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.co.jp

電子メール : 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

